

東証プライム 4631

日経平均採用銘柄

DIC株式会社 個人投資家向けセミナー

コーポレートコミュニケーション部長
小峰浩毅



DIC株式会社

トピック



1

会社概要

2

インキ製品に依存しない
事業ポートフォリオの確立

3

2030年に目指す姿

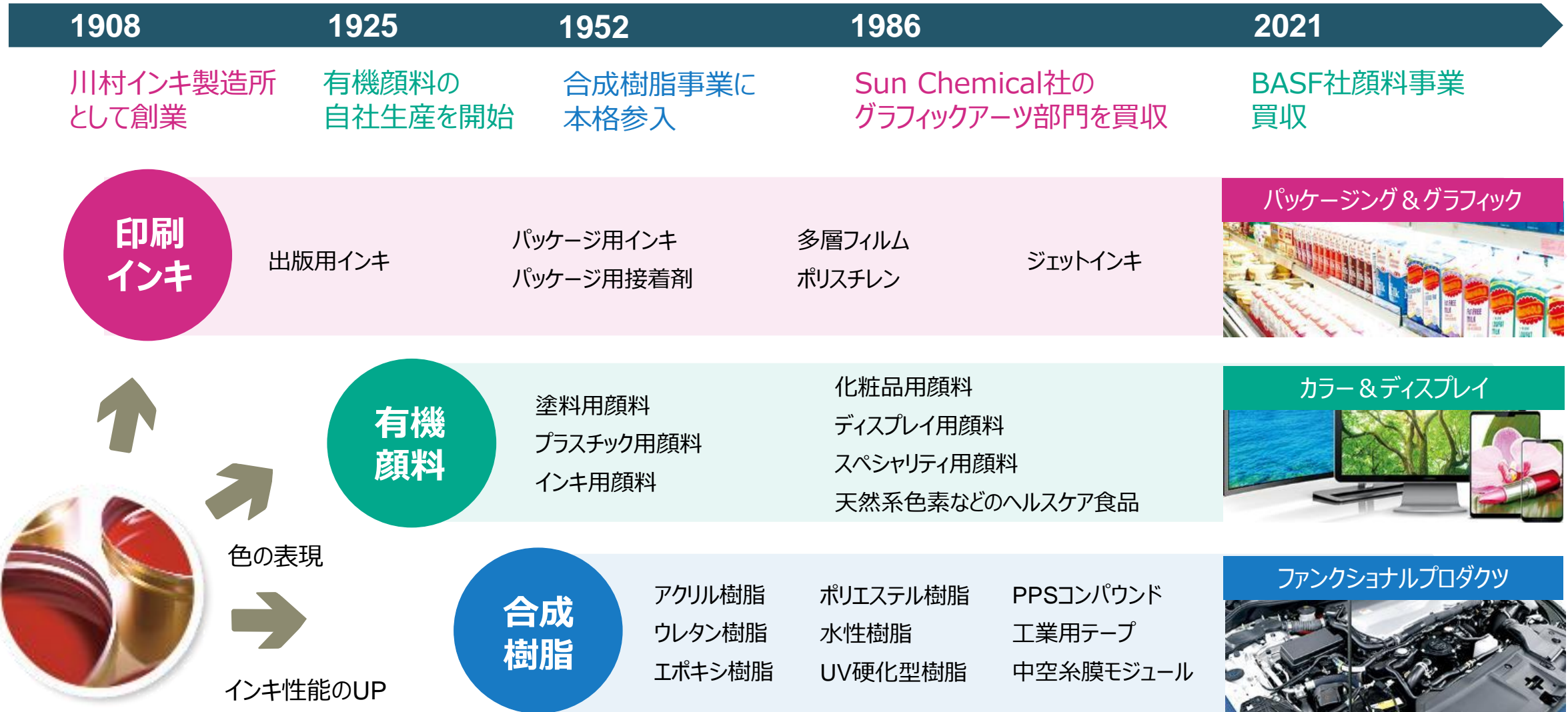
当社概要

商号	DIC株式会社（旧社名：大日本インキ化学工業）
創業	1908年（明治41年）
証券コード	4631 東証プライム上場 日経平均採用銘柄
事業内容	印刷インキ、有機顔料、合成樹脂等の製造・販売
売上高	1兆542億円（2022年12月期）
営業利益	397億円（2022年12月期）



世界シェアトップ

DICの歴史 - 絶えざるイノベーションとグローバル化 -



グローバルな化学メーカー

海外売上高比率

67.2%

世界地域別売上高構成

アジア・オセアニア
(日本を除く)

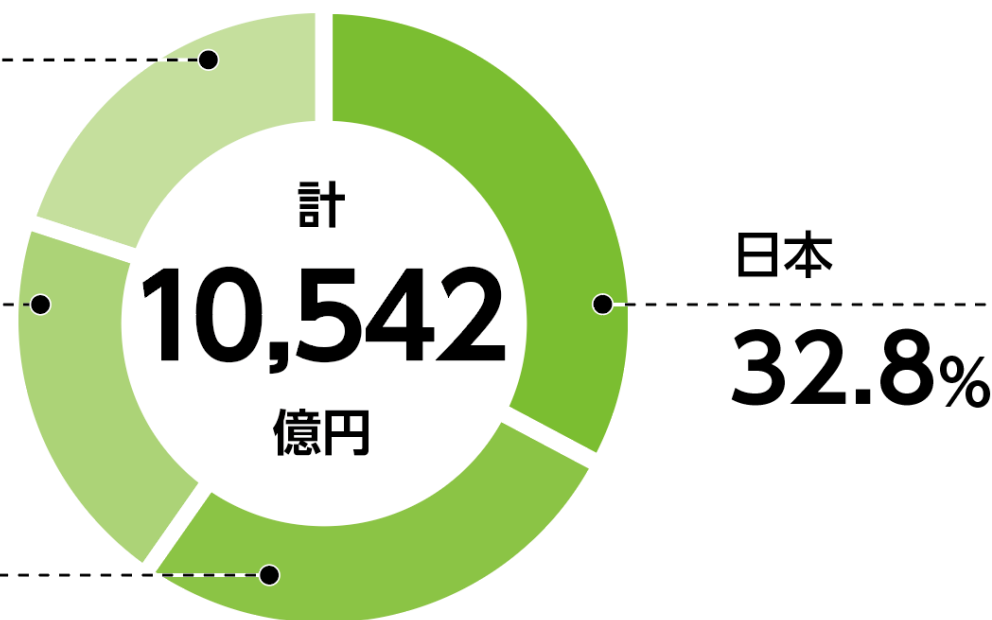
20.0%

北米・中南米

20.2%

欧州・アフリカ

27.0%



経営ビジョン

経営ビジョン

彩りと快適を提供し、人と地球の未来をより良いものに

- *Color & Comfort* -

基本方針

「進化した“Color & Comfort”の価値提供を通じて、
株主利益を包摂する社会的利益を追求し、長期的な企業価値の向上を目指す」

「DIC Vision 2030」の目指す姿

1. 社会の持続的繁栄に貢献する事業ポートフォリオを構築

- 成長市場における事業拡大と新事業創出により、“インキ製品に依存しない事業ポートフォリオを確立”
- 「サステナブル製品」の拡大を通じて「グリーン社会」・「デジタル社会」・「QOL社会」に貢献し企業価値を向上

2. 地球環境と社会のサステナビリティ実現に貢献

- サステナビリティ戦略を推進し、“カーボンニュートラル社会の実現”を目指す
- 2030年CO₂排出量50%削減（2013年度比）

トピック



1

会社概要

2

インキ製品に依存しない
事業ポートフォリオの確立

3

2030年に目指す姿

セグメント別売上構成

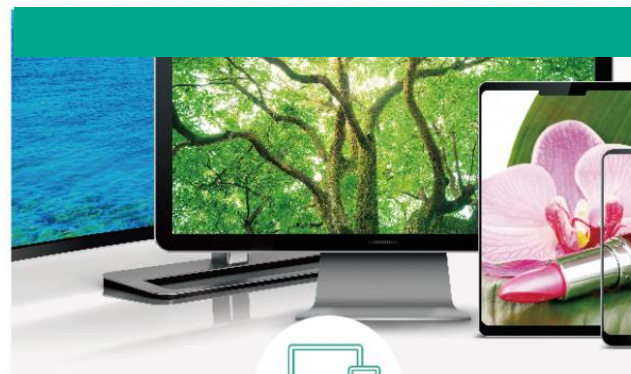


パッケージング&グラフィック

- パッケージ用インキ
- 包装用接着剤
- 包装用フィルム
- ジェットインキ
- 出版新聞用インキ

2022年度
売上高構成比

48.6%



カラー&ディスプレイ

- 塗料・プラスチック用顔料
- インキ用顔料
- 化粧品用顔料
- ディスプレイ用顔料
- スペシャルティ用顔料
- ヘルスケア食品

22.6%



ファンクショナルプロダクツ

- 各種の合成樹脂
- PPSコンパウンド
- 工業用テープ
- 中空糸膜モジュール

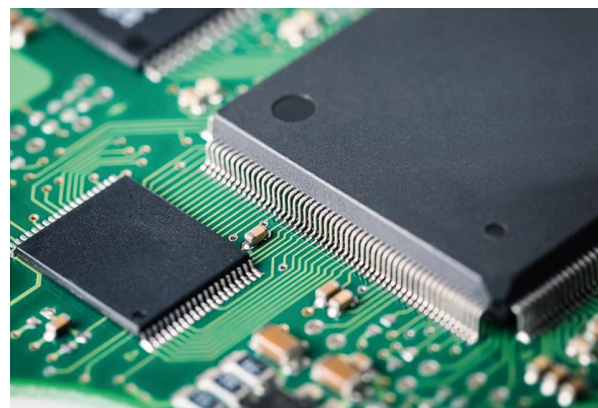
28.8%

デジタル社会に貢献する高機能製品の拡大



ディスプレイ向け材料

- カラーフィルタ用顔料
グリーン世界シェア 1 位
ブルー 世界シェア 1 位
- PFASフリー界面活性剤



半導体、半導体製造装置、 基板向け材料

- 配線基板用エポキシ樹脂
- 封止材用エポキシ樹脂
- 高周波対応配線基板向け
エポキシ硬化剤
- 半導体フォトレジストポリマー



スマートフォン等の 電子機器向け材料

- 工業用テープ
- 光学用UV硬化型樹脂

環境配慮型の有機フッ素化合物「PFAS」フリー界面活性剤を開発

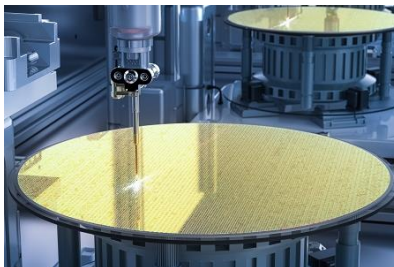
様々な分野で使用されている
フッ素系界面活性剤

環境への潜在的リスクが懸念され、有機フッ素化合物「PFAS」の一部は段階的に規制が強化されている

環境に配慮した製品のニーズに対応

有機フッ素化合物「PFAS」フリーの環境配慮型の界面活性剤
「MEGAFACE®EFSシリーズ」を開発

従来のフッ素系製品が使用されるディスプレイ、半導体、自動車、塗料などの広範な用途で代替可能



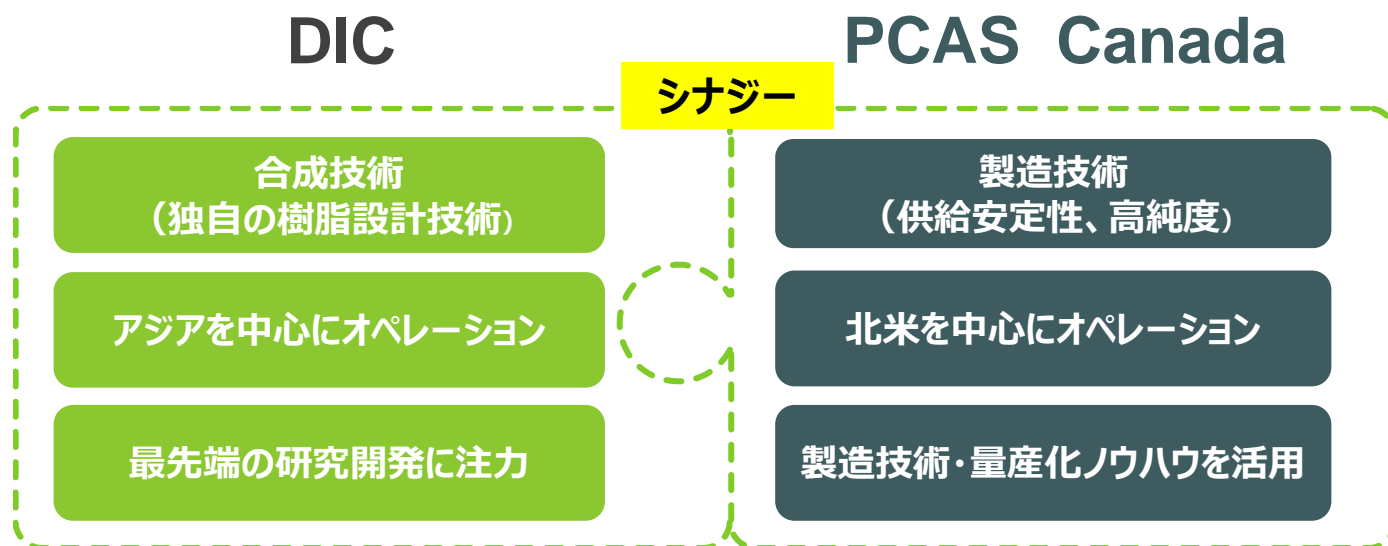
フッ素系界面活性剤メーカーは実現できていない製品
樹脂の技術に強みを持つDICだからこそ実現できた製品

カナダの半導体フォトレジストポリマーメーカーを買収

2023年6月、半導体フォトレジストポリマーにおいて 10%超のグローバルシェアを持つPCAS-Canada社を買収

DICは、
ロジック・メモリーの先端半導体向け
フォトレジストポリマーの研究開発に強みをもつ

PCAS-Canada社は、
半導体フォトレジストポリマーに求められる低金属化・
高純度化を実現する優れた製造技術と量産ノウハウを有している



2030年までに
フォトレジストポリマーの売上高を
150億円まで伸ばし、
デジタル分野の主力事業とする

トピック



1

会社概要

2

インキ製品に依存しない
事業ポートフォリオの確立

3

2030年に目指す姿

成長投資と長期的な数値目標



2019 2020 2021 2022 2023 ----> 2025 -----> 2030

アジア



欧米



数値目標	
売上高	13,000 億円超
営業利益	1,200 億円超
営業利益率	9.2%超
ROIC	8.0%超
サステナブル製品比率	60%

DIC Vision 2030

第1フェーズ：
目指す姿の基盤づくりをグローバルで推進

第2フェーズ：
目指す姿の実現と展開

2023年度の業績見通し

- ドイツBASF社顔料事業の買収により欧州のエクスポージャーが拡大したタイミングで、欧州の景気停滞により出荷数量が大幅に減少
- 半導体市場の悪化により関連する高付加価値製品の出荷が大幅に減少

(億円)	2022	2023 見通し	増減比
売上高	10,542	10,500	△0.4%
営業利益	397	150	△ 62.2%
当期純利益	176	△90	赤字化

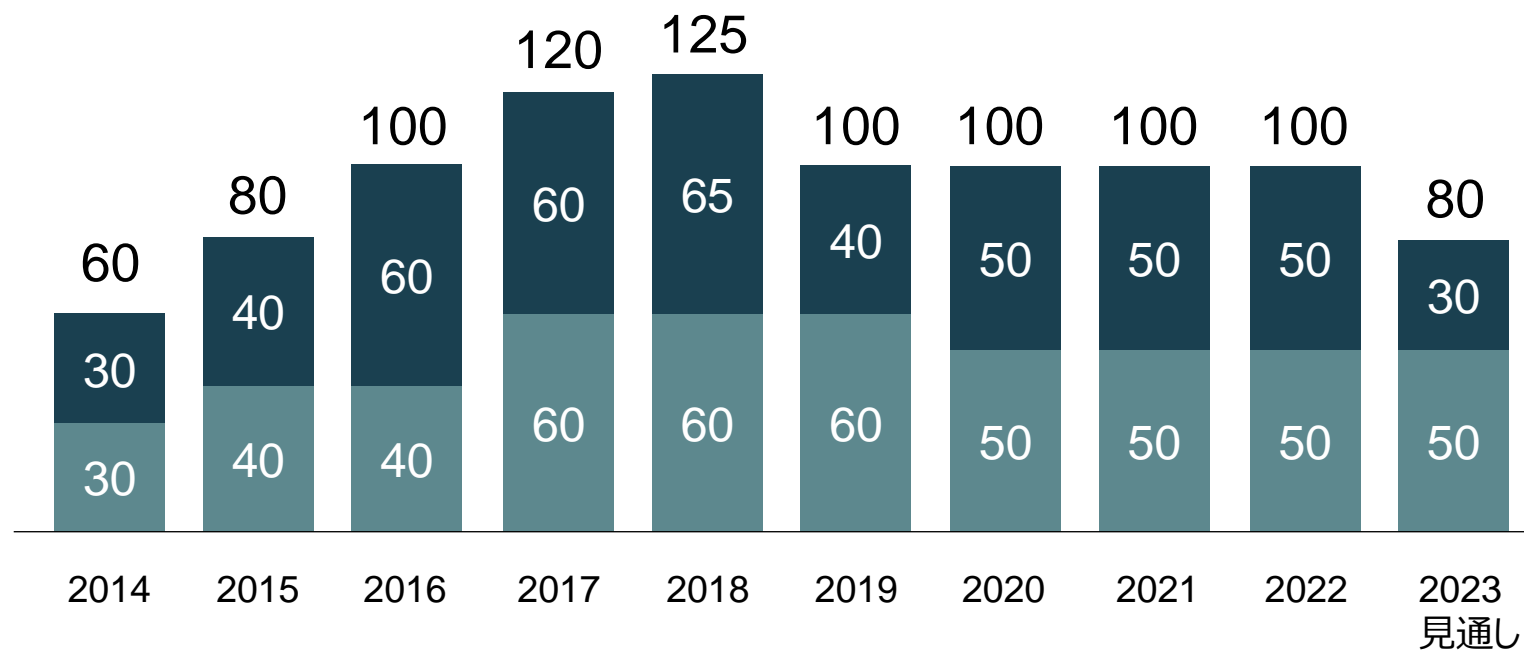
2023年度のセグメント別営業利益見通し

(億円)	2022	2023 見通し	増減比
パッケージング&グラフィック	203	192	△5.5%
カラー&ディスプレイ	51	△ 97	赤字化
ファンクショナルプロダクツ	236	158	△33.1%
その他、全社・消去	△94	△ 103	—
連結合計	397	150	△62.2%

配当方針

- 健全な財務体質を維持しつつ、戦略投資と株主還元をバランスよく行い、株主価値の最大化を図ります
- 配当は安定配当を基本方針としています

■ 中間 (円) ■ 期末 (円)



配当
利回り **3.3%**

※2023/11/30時点の
株価 (2,433.5円) を基準にしています

DICをもっと知りたくなったら



製品のご紹介に加えて、
投資家向け情報も充実しています

DIC ウェブサイト

<https://www.dic-global.com/ja/>



彩りと快適を通じて社会とつながる
DICグループの活動をお伝えします

DIC ウェブサイト スペシャルコンテンツ

<https://www.dic-global.com/ja/contents/column/>



<予想に関する注意事項>

本資料は、情報の提供を目的としており、いかなる勧誘行為を行うものではありません。

業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断した見通しですが、実際の売上高及び利益は、記載している予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。当社は、業績見通しの正確性・完全性に関する責任を負うものではありません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負うものではありません。



Color & Comfort



DIC Corporation